

# IDDNewsletter.....3

March  
2023



## 特集1

### 令和4年度修了作品展

令和5年2月16日木曜日～19日土曜日まで市立小樽美術館市民ギャラリーにて令和4年度修了作品展を開催いたしました。今回の学科だよりでは、修了作品展に出品した3名の学生からの感想を加えながら、展覧会の様子について御紹介いたします。

## 特集2

### 筑波技術大学との連携授業

情報デザイン科では、聴覚障がい学生が多く在籍する筑波技術大学との連携授業を例年、2月から3月にかけて行っております。今年度は、タイポグラフィーの応用的な技術を取り上げたのに加え、Adobe Aero を利用した AR 技術を利用し、空間を拡張していく表現について取り組みました。

# 令和4年度修了作品展

令和5年2月16日木曜日～19日土曜日まで市立小樽美術館市民ギャラリーにて令和4年度修了作品展を開催いたしました。今回の学科だよりでは、修了作品展に出品した3名の学生からの感想を加えながら、展覧会の様子について御紹介いたします。



令和5年2月16日木曜日～19日土曜日まで市立小樽美術館市民ギャラリーにて令和4年度修了作品展を開催いたしました。

展覧会においては、修了生3名が科目「課題研究」において制作したテーマ別の作品（修了作品）に加え、2年間の間に各科目制作したポスター類等を展示し、これまでの学習の成果を皆様に御覧いただきました。

修了作品は、Unityを使ったシューティングゲーム、ARを使ったグラフィック作品の拡張によるアナログとデジタルの融合、タブレットによるイラストレーションの展開など、それぞれの学生の個性を生かした多岐に渡るものになりました。特に、ARを使った作品のインパクトは非常に強かったようで、特別な機材を準備せずとも、タブレットを使ったARの実現は、他の展覧会への展示への応用と拡張性の高さについて御意見をいただくことが多く、来場いただいた皆様に高い関心をいただいたようです。

4日間で223人の方に来場いただきました。御来場いただいた皆様、ありがとうございました。

修了作品展に出品した3名の学生からの感想をいただきましたので、御紹介いたします。

修了作品展に向けて作品制作に集中して取り組んできました。作品制作を通して苦労したことは、作品の全体のバランスをよくすることです。私の場合はイラストレーションに関する制作をしているので、部分的に集中するのではなく全体的に見て修正すべき箇所があるかどうか判断することが難しく苦労しました。作品制作の時期は計画を立てて取り組むことの重要性、作品をより良くするための工夫など大変さを実感でき、勉強になりました。

私は修了作品展開催日の一週間前に筑波技術大学との連携授業が行い、そこで「Adobe Aero」を知り、それを活用して作品の表現の幅を広げられるのではないかと思います、急遽導入が決まりました。「Adobe Aero」には一回も触ったことないソフトなので、使い方も全くわからない状態でのスタートでしたが、これまでの経験や勘を活かしてすぐ

使いこなせ、完成することができました。

作品を AR で表現の幅を広げさせることは大きな進化であり、美術の理を変えるような技術でした。たくさんの方々に楽しめられたようで安堵しています。

Unity を使ったゲームのプログラミングが一番苦労したことです。初めての内容でしたのでやり方や作り方も手探りで組み立てたのでかなり時間を食ってしまったことが印象に残っています。

## 特集2

# 筑波技術大学との連携授業

情報デザイン科では、聴覚障がい学生が多く在籍する筑波技術大学との連携授業を例年、2月から3月にかけて行っております。今年度は、タイポグラフィーの応用的な技術を取り上げたのに加え、AdobeAero を利用した AR 技術を利用し、空間を拡張していく表現について取り組みました。

例年専攻科在籍学生を対象に行われている「筑波技術大学との連携授業」。今年度の1回目の授業が2月6日月曜日に行われました。

この授業は、聴覚障がいのある学生が多く在籍している筑波技術大学の事業として行われているものです。同校と協定を結んでいる本校は、この事業内容に専攻科の授業を組み込み、大学における専門性の高い内容を在籍学生に提供する仕組みの一部として取り組んでいます。今年度は、AR 技術を組み込んだグラフィックデザインがテーマとなっており、AdobeAero を利用した仮想現実の制作を進めます。全3回の日程となっており、1回目の今回は、技術大学から先生方

展示会の様子を撮影した写真のスライドショーを、本校公式 Web ページから御覧いただけます。

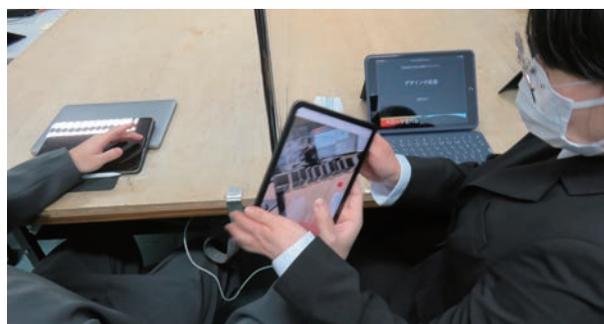
[http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page\\_id=221](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=221)

IDDN

が来校され、ライブの授業を行いました。これまでに得た知見を大いに生かしつつ、最前線の技術に触れた授業内容は、大変刺激的なものではありませんでした。

また、放課後には、本科在籍生徒を主な対象とした障害理解の授業や大学説明会等も開催されました。普段触れる機会の内容が多く扱われており、どの生徒にとっても、濃密で有意義な時間になったものと思われます。

IDDN



# Contents

## 特集1

### 2-3 令和4年度修了作品展

令和5年2月16日(木曜日)～19日(土曜日)まで市立小樽美術館市民ギャラリーにて令和4年度修了作品展を開催いたしました。今回の学科だよりでは、修了作品展に出品した3名の学生からの感想を加えながら、展覧会の様子について御紹介いたします。

## 特集2

### 3 筑波技術大学との連携授業

情報デザイン科では、聴覚障がい学生が多く在籍する筑波技術大学との連携授業を例年、2月から3月にかけて行っております。今年度は、タイポグラフィーの応用的な技術を取り上げたのに加え、Adobe Aero を利用した AR 技術を利用し、空間を拡張していく表現について取り組みました。

*Welcome to Information Design Department!!*

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科学科だよりをお読みいただきまして、ありがとうございます。

3月1日、2年生3名が専攻科情報デザイン科を修了し、それぞれの進路に向けて一步を踏み出します。

修了生にとっては、一生に一回のハレの日です。思い出に残る佳き日となることを願います。

そして、いよいよ今年度も大詰めです。まだ残り1ヶ月を残していますが、新年度に向けての総括と枠組みづくりを進めていく時期となりました。

今後とも、よりよい教育コンテンツと指導方法を提供するため、鋭意努力してまいります。

## 情報デザイン科学科だより

Information Design Department

# IDDNewsletter

March 2023 **3**

IDDNewsletter March 2023

発行人／北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」編集チーム

発行／北海道高等聾学校

〒041-0261 北海道小樽市銭函1丁目5-1

www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp

※ご意見、ご要望などにつきましては、上記 Web ページより電子メールでご連絡ください。



## 専攻科情報デザイン科の特徴

- ・高等学校に設置される「専攻科」と同様の枠組みです。(いわゆる「標準教育」の教育課程です)
- ・授業料が全くかからず、材料費等も非常に低コスト<sup>(注3)</sup>で、対費用効果の高い学びができます。また、通学等に関わる費用は「就学奨励費」の対象<sup>(注4)</sup>となっており、支援制度等も充実しています。
- ・DTP や Web に係る「最新の」「スタンダード」な内容を重視します。(例えば、Web であれば、HTML5 と CSS3 を使い、セマンティックなコーディング、というように。もちろんテーブルレイアウトや center タグは使いません！)
- ・デザイン等に専門的な学習だけではなく、特別支援学校における「自立活動」<sup>(注5)</sup>で扱うべき内容、例えば日本語教育や聴者社会の社会生活に係わる内容等を、総合的に、到達度をはっきり理解できるように学びます。
- ・学生のこれまでの学びの環境や積み重ね(「普通校」出身者か「聾学校」出身者か、失聴時期、日本語のリテラシー、学力等)に合わせた教育方法を準備します。
- ・筑波技術大学と協調した授業等も行っています。
- ・修了後について、本人、保護者の希望をお聞きすると同時に、ロールモデルとなる聴覚障がい教職員のアドバイスを受けたり、聴者社会とろう者社会、ろう者と難聴者との違い<sup>(注6)</sup>などについて客観的に学びながら、単に「好きなこと」から「(社会にとって、自分にとって)やる価値のあること」「自分の技量のできること」「社会に貢献できること」といった観点から主体的に進路選択できるようにしていきます。

ファックス：0134-62-2663

電子メール：koutourou-z0@hokkaido-c.ed.jp

電話：0134-62-2624

※入試前まで教育相談等に対応できます。

一人一人に合った指導方法を準備するために、できるだけ入試前に教育相談にお越しになることをおすすめいたします。